

## 令和6年度 第2回山北町まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録

1 開催日時 令和6年12月20日(金)

開会：10時00分 閉会：11時05分

2 開催場所 山北町役場 401会議室

3 出席者(敬称略)

(1) 委員 8名

株式会社トヤマ 総務部長 香川 篤史

かながわ西湘農業協同組合山北支店 支店長 鳥居 千哲

山北町 副町長 石田 浩二

神奈川県立山北高等学校 校長 多田 功

株式会社山北学園鹿島山北高等学校 校長 石塚 孝男

横浜銀行山北支店 支店長 梅田 秀治

さがみ信用金庫開成町支店 支店長 林 裕樹

(2) 事務局 3名

参事兼企画総務課長 井上 茂明

企画総務課副主幹 高橋 和久

企画総務課主事 石村 公一

(3) 株式会社サーベイリサーチセンター 1名

執行役員 一杉 浩史

4 会議概要

1 開会 参事兼企画総務課長

2 議題

(1) 山北町第3期人口ビジョン・総合戦略の策定について

会 長

それでは、議題（1）山北町第3期人口ビジョン・総合戦略の策定について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

資料により説明。

会 長

この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。

副会長

40 ページのコラム「11人ショック」について、2024年度の出生数は11人と見込まれている。山北町だけの問題ではないかもしれないが、11人という数字で見ると、課題というより、深刻な現状と実感している。出生数を増やすことについて、町として具体的な案はあるのか。

事務局

町としても深刻な現状と捉えており、40 ページのコラム「11人ショック」にも記載しているが、2024年8月から子育て中の職員を中心とした「出産・子育て応援プロジェクトチーム」を立ち上げた。はじめに、即効性のある事業について、令和7年度実施に向けて、すでに提案を行った。現在、予算編成中であるが、最優先事項として進めている。また、令和8年度以降の中長期的な事業についても併せて検討を行っている。

会 長

39 ページの「出生数の推移」のグラフでは、2020年から2021年は出生数が増加している。これは、移住により若い人が増えたことに伴い、出生数も増加したという経緯がある。小学校の児童数について、1クラス35人を目標としているが、2024年度の出生数は11人と大きく下回っている。2025年以降も減少傾向のままか、それとも増加傾向となるのかわからない状況である。いずれにしても、即座に出生数を11人から大幅に増加させることは難しい状況であり、事務局からも話があったが、「出産・子育て応援プロジェクトチーム」の取組について、はじめは、令和7年度の出生数が増えるよう、現在、取り組んでいる出産や子育て関連事業の拡充を行い、事業に取り組んでいく。

委 員

22 ページの人口ビジョンの目標人口を6,517人としているが、出生数を増やすには、はじめに人を増やす必要がある。どの地域でも高齢者が亡くなっていけば、人口は減っていくため、いかに新しい人を増やしていくかが重要と考える。人口が少ない地域でも、人が増える取組を第一優先で行えば、人口が増加

するだけでなく、町全体の活性化にも繋がると思う。定住対策で様々な事業に取り組んでいることは承知しているが、家が最もお金がかかる場所であるため、空き家の無償提供等も含めた施策の検討が必要ではないか。

事務局

その意見については、「総合戦略」での検討事項ではないため、事務局で回答は出来かねる。より詳細な事業について、定住対策課で策定している「定住総合対策大綱」で検討を行っており、「定住総合対策大綱」で新たに取り組む内容があれば、「総合戦略」にも盛り込んでいく。

会 長

いただいた意見について、令和7年度に実施することは難しいが、中長期的に住まいづくり応援制度等の拡充に向けて、取り組んでいく必要はあると考えている。

委 員

22ページの人口ビジョンの目標人口を6,517人と設定しているが、2024年度の出生数は11人であり、目標人口と現状が大きく乖離していると感じる。この目標人口は現状を反映した数値なのか。

事務局

現状を反映した数値ではない。この数値は合計特殊出生率1.3に達し、転入が均衡となった場合の目標人口である。

委 員

39ページの「出生数の推移」のグラフによると、2021年度の出生数は25人程度であるが、2024年度はおおよそ半分の11人であることを踏まえると、より人口減少が加速していくと考える。

また、定住施策だけでなく、働く場所の提供にも取り組んでいく必要があるのではないか。新東名との兼ね合いで企業誘致等の話はあるのか。出生数に繋げることは難しいため、若い世代でなくても、転入してもらえるような施策に取り組むのか。様々な方法はあると思うが、町としてどうお考えか。

事務局

人口ビジョンでは、出生数を増やすよりも、若い世代の転入数を増やす方が将来的な人口は増えるというデータが出ている。ただし、31ページの体系図のとおり、総合戦略では、企業誘致、転入、出産・子育て等、これらを平行して取り組み、人口ビジョンで設定した目標人口を下回らないようにしていくという意味合いがある。そのため、町としては、1つに絞って取り組んでいくとい

う考えはなく、関連して進めていく。

委員

言える範囲で構わないが、企業誘致等で具体的な動きはあるか。

事務局

スマートインターチェンジが令和9年度に完成予定であり、その事業者が撤退時期を示し始めている。撤退後の敷地について、広大な敷地があり、企業誘致等を検討しているところである。

委員

36 ページの関連、鹿島山北高校の生徒から「山北町の自然は素晴らしい。」という意見が出る。しかし、移住や定住の話になると良い反応があまりない。転入数を増やすことは、他の自治体も取り組んでおり、山北町単独で増やしていくことは難しいと感じる。考え方を変え、現在、定住している人の支援を手厚くする方がいいのではないか。また、町の大きな特色があれば、より人の興味や関心に触れることができると思う。

事務局

「出産・子育て応援プロジェクトチーム」でも同様の意見が出ており、良い結果に結びつけるよう引き続き検討していく。

副会長

県立山北高校も同じ状況であり、生徒の関心が田舎に向かない。未来探究で「少子高齢化」をテーマに取り組んでいるが、山北町出身じゃない生徒が多いため、想像でしか語るができないという問題がある。

委員

いろんな意見が出ているが、他の自治体の取組を参考としたらいいのではないか。

町職員の居住状況を探れば、本質的な課題を見つけることができると思う。

また、レジャーについては、車で来られた方から「自然環境は素晴らしいが、駐車場が少ない。」「道幅が狭い。」という意見を聞いた。一方、徒歩で来られた方は、舗装されていない道を歩きたいという意見もあり、町としてレジャースポットをどういう風に設計していくのか。

子育てに関しては、就学前に転出、または、大学入学時に転出するケースが多い。大学を建てるのは難しいと思うが。

事務局

他の自治体の取組については、内閣府の方で情報提供がされている。山北町に合いそうな取組があれば、取り組んでいきたい。

町の職員の居住状況については、把握をしている。理由についても、大枠ではあるが、確認をしている。ただし、あくまで居住地については、自由であるため、強制はできない。

レジャーについては、現状、大野山や丹沢湖周辺に広い平坦な敷地がないため、何とか臨時駐車場で対応しているところである。検討はしているが、個人の土地の問題もあり、解決に至っていない。解決に向けて、取り組んでいきたい。

委員

29 ページ (10) や 37 ページの駅周辺に関する事で、駅舎の建替や貴重な D52 の活用について、JR 東海と連携した方がいいと考える。産業まつり等のイベントとマッチングさせることも良いのではないかと。

事務局

山北町の交通の結節点ということで、駅前の活性化は重要と捉えている。商工会と連携しながら、取り組んでいきたい。JR 東海に対しては、要望を出しているが、町と JR 東海の連携したイベントについては、難色を示している。引き続き、要望していきたい。駅舎の建替については、JR 東海が検討をしている。建替について、要望した部分は町の方で予算を計上するように言われている。町民に親しまれてきた駅舎であるため、町民の意見も踏まえて進めていく。

委員

開成駅のロマンスカーとコラボイベントがあっても良いのでは。メディアに取り上げられれば、人気が出るかもしれない。

委員

熱海市や小田原市も力を入れているので、良いかもしれない。

会長

SNS の発信も力を入れなければならないと思っている。

副会長

情報発信はどのような方法を取っているか。

事務局

D52 であれば整備動画を YouTube にアップしていたり、各課のイベントでは Instagram を活用して発信したりしている。

副会長

提出したアンケートでも県立山北高校の生徒から Instagram 等を使って、魅力発信した方が良いという意見がある。

委員

更新頻度も重要である。

会 長	昨年度の鹿島山北高校の卒業式で、Instagram でたくさん発信した生徒を表彰していたが、状況を教えてほしい。
委 員	教育の一環として、山北町の PR を学校発信ではなく、生徒発信で行った。非常に反応が良かった。これも活用の1つと考えている。
会 長	そういう取組は非常にありがたい。参加者に発信してもらう方が、影響力があると思う。
副会長	県立山北高校は学校説明会も学校紹介動画も生徒が考案して行っており、反応が良い。山北町に住んでいる人に発信してもらうと良いかもしれない。インタビュー等の発信も良いと思う。

(2) その他：今後の策定スケジュールについて

会 長	次に、議題（2）その他について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	資料により説明。

3 閉 会 多田副会長

以 上